学生の就職問　題について

文・三　井　正　信
(Mitsui, Masanobu)
法学部助教授
(平成８年度厚生委員会
就職問題検討小委員会委員長)

バブル経済がはじけ平成不況が到来するとともに、企業ではリストラの嵐が吹き荒れ、それとともに学生の就職状況も厳しくなってきた。特に一昨年度は就職氷河期、女子にとっては就職超氷河期とよばれ、学生の就職問題が社会問題化した。昨年度は、経済が若干上向いてきたため多少就職状況も好転したと言われているが、相変わらず厳しい状況にあることには変わりはない(ここ数年の広大の就職状況については表1を参照)。加えて、今年は就職協定が廃止され、就職戦線は混迷の度を深めつつある。就職は諸君の約四十年近くにわたって展開するワーキングライフの入り口であり、諸君にとって重要な意味を持っているのだが、ここに試練の関門が待ち受けているのである。

また、現在のリストラは、単に不況だからという理由からのみではなく、現在進行中の社会・経済構造の変動にあわせて企業の組織や構造を再構築しなければならない、という観点から行われているのであり、不透明な二十一世紀の社会・経済状況をにらみつつ、それに適合的な企業づくりが求められているのである。従って、企業は今まで通りの学生ではなくて、今後何が起こるか分からない状況の中で、的確な状況判断を行い進んで企業の未来を切り開いてくれるような積極的な想像力あふれる人物を求めており、このように企業が設定した条件をクリアしないとなかなか就職に結びつかないといえる。公務員についても同様である。

以上のような変化ないしは現状を踏まえて、広島大学としても従来のように就職問題を専ら学生にのみ任せておくのではなく、大学全体としても積極的に取り組んでいこうという結論に至り、平成六年度より厚生委員会の中に就職問題検討小委員会を設け、活動を行ってきた。

本稿は、この委員会(そして委員会所轄の事務組織である学生部厚生課)の活動を平成八年度を中心として振り返って概括するとともに、かかる活動を通じて得られた成果をもとに、学生諸君へ就職問題についての若干のアドバイスを行おうとするものである。

企業就職ガイダンスでの様子

これまでの就職への全学的取り組みと今後の課題

(1)就職ガイダンスの実施

平成六年に就職問題検討小委員会が設けられて以来、計画的に全学向けのガイダンスを実施し、学生諸君に対する意識の喚起や情報提供を行ってきた。平成八年度は、公務員ガイダンス四回、企業就職ガイダンス五回、女子学生ガイダンス二回、法・経二部学生向け企業ガイダンス三回を実施した(表2参照)。

従来と異なる今年度の特色は、単に形式的な就職活動の方法や公務員試験の概説にとどまらず、加えて企業や官庁の人(労働省広島婦人少年室長)を招いて、企業や行政の現場の視点から、本音で就職・採用・ワーキングライフのお話をしていただく機会を設けたことである。これらの生の話は、学生諸君に概ね好評であった。

(2)就職用パンフレットの作成・配布

例年通り平成八年度も、広島大学の学生就職PRのため、広島大学紹介パンフレットを作成し、企業など約九百社に配布した。カラー印刷で広島大学の特徴をコンパクトに紹介しており、企業に対して大いに広島大学をアピールするものとなっている。

(3)全学向け「就職の手引」の作成

従来、学部の中には独自に就職の手引きを作成しているところもあったが、全学版は存しなかった。ようやく本年度にいたり、全学版の「就職の手引」が完成し、全学学生に対して統一的な就職の指針を示すことが可能となった。

表1　過去５年間の就職状況

年度	広島大学		
	男	女	計
3	97.5%	97.7%	97.5%
4	94.9	92.6	94.0
5	90.5	89.1	89.9
6	87.8	87.9	87.9
7	84.2	82.2	83.3

(4)企業等訪問の実施

平成八年度の就職問題検討小委員会の活動の中で特記すべきは、企業等の訪問を開始し、広島大学をPRするとともに就職に関する情報を積極的に収集し始めたことである。今年は手始めということでまだ規模は小さいのだが、デモンストレーション的に、企業については広島・東京・大阪の企業を合計十四社、私立大学二校(明治大学、関西大学)の就職部、その他二団体を筆者と学生部長とで訪問した。

わずかの訪問ではあったが、企業からは企業の人事戦略・求める人物像、広大OBの評価、就職協定廃止にともなう平成九年度の採用活動の方針、私立大学就職部からは積極的な就職問題への取り組み状況、労働省婦人局の外郭団体からは女子学生の就職問題についてのアドバイス及びその団体主催での広大での女子就職セミナーの実施の約束など、さまざまな情報や成果を得ることができた。

(5)今後の課題

筆者の任期は今年三月までであって、現在もはや就職問題検討小委員会には関係がなくなってしまったのだが、昨年度委員長を務めた経験を踏まえて、あくまで筆者個人が今後取り組むべき課題と考えているものをいくつか述べてみることにしよう。

①就職支援体制の充実

私立大学では、学生の就職支援のための事務組織が確立しており、学生に対する就職指導や情報提供も徹底している。広大のような国立大学では、事務官の定員との関係で私立大学のような事務組織は望めないが、とにかく厚生委員会とは別個の就職関係を専門に取り扱う委員会を独立に設けて体制を強化し、積極的に活動を行う必要があろう。

②企業情報のキャッチ

昨年十二月と今年の一月、二月に企業訪問を行ったが、さまざまな情報や企業の広大に対する想い等を聞くことができた。

現在社会・経済は大きな変動期にあり、採用を含めた企業の経営施策というものは、リアルタイムで刻々と変化している。特に、就職協定廃止によって、現在多くの企業が採用方針・計画をめぐり暗中模索・試行錯誤といった状態にある。通年採用制を実施する企業も現れはじめている。このような状況を認識しこれに対応するためには、今後もっと積極的に、直接に企業から情報を得ることも必要であろう。

③計画的な就職指導・情報提供・ガイダンスの実施、就職相談体制(窓口)の確立

④公務員試験などの資格試験に対する準備対策の制度化・強化

⑤全学での取り組みとそれに加えての学部ごとのきめ細かな取り組みの必要、及び学生の就職問題に対する学部間の連携・情報交換

⑥他大学との就職に関する交流・情報交換

就職に関して学生諸君に望むこと

現在、民間企業に就職するにしろ公務員を目指すにしろ、非常に厳しい状況にある。また企業・官庁においては、不透明な未来を見つめ予測し、これに自主的に対応していく独創性あふれた人物が求められている。

このような中、学生諸君は、勉学やサークルなどに自分を打ち込み充実した学生生活を送ることのみならず、学生時代のうちに自己を見つめ将来自分が何をしたいのかを真剣に考えて、ビジョンを持つことが必要となるし、社会・経済の変化に対応できる知識・能力を身につけることも重要となろう。そして、先輩などの経験談に耳を傾け、情報等も収集しておくべきである。

三年生の終わりや四年生になってから、泥縄式に就職に対処しようとしても時すでに遅く、十分な成果が得られなくなってきているともいえる。いかなる進路を取るにしても、自分自身の将来についてであるから、早いうちから将来の進路や就職問題に関心を持ち、問題意識を養ってほしい。特に新入生諸君には、大学に入って苦しい受験勉強から解放されてほっとして遊んでしまうのではなく、将来のビジョンをも含め目的意識を持って、実り多い学生生活を過ごされることを望みたい。

表2　平成８年度就職ガイダンス実施状況一覧

ガイダンス名		開催日	開催場所	内容	参加者数	備考
公務員ガイダンス	1回	平成８年９月26日	総科大講義室	●公務員試験の学習方法説明	人 270	大栄教育システム講師による講演
	2回	10月30日	総科大講義室	●国家公務員採用試験概要説明	190	人事院及び各関係省庁による説明
	3回	11月７日	法・経大講義室	●「行政が求める人間像・公務員の仕事・女子の就職について」	180	広島婦人少年室長講演
	4回	11月13日	総科大講義室	●広島県及び広島市採用試験概要説明	100	広島県職員説明 広島市職員説明
企業就職ガイダンス	1回	11月20日	総科大講義室	●「就職活動へ向けての心構え」 ●ＮＴＴ内定者による体験談	330	リクルート社職員講演 内定者による講演
	2回	11月27日	総科大講義室	●「企業が求めている人間像及び就職の意義」	270	住友金属工業社員による講演
	3回	12月18日	総科大講義室	●「情報化時代の就職活動インターネットによる就職活動」 ●就職内定者による体験談	270	毎日コミュニケーション職員による講演 内定者２名による講演
	4回	平成９年２月21日	法・経大講義室	●「企業訪問を終えて及び就職協定について」 ●模擬面接実施(個人・集団面接)	250	三井委員長講演 リクルート社職員担当
	特別企画	12月19日	法・経255大講義室	●就職内定者による業界別総合就職説明会	250	就職内定者有志による説明会
女子学生ガイダンス	1回	11月７日	法・経大講義室	●「行政が求める人間像・公務員の仕事・女子の就職について」	180	広島婦人少年室長講演
	2回	平成９年１月22日	総科大講義室	●「これからの女性の社会進出について」 ●専門学校生による体験談	80	IWAD女子技術学校長講演 教育OGによる講演
法・経Ⅱ部生ガイダンス	1回	10月８日	法・経133教室	●「スタートライン・The・就職」	30	リクルート社職員による講演
	2回	11月27日	法・経233教室	●「今，企業が求める人材・人より一歩先をいく就職活動」	20	住友金属工業社員による講演
	3回	平成９年２月18日	法・経333教室	●「就職戦線注意報」 ●「今年の経済状況と就職活動」	65	リクルート社職員講演 中国新聞経済部長講演
就職指導講演会	1回	10月18日	生物生産第一会議室	●「就職指導について」(就職担当教職員対象講演会)	教職員 40	総合科学部西川講師による講演

※法経Ⅱ部生ガイダンスについては，法学部・経済学部と学生部との共催